夕刊
磐城新聞
九月十七日發行
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八五六五番

天氣豫報（小名濱測候所發表）

今晩は北西の風曇り時々晴
明日は北西の風晴れたり曇つたりのお天氣

靜かなる心

原　丈氏（舊稿）

勞働

廊下からぼんやりと海を眺めて居るのらくら者の私には潮風は涼しいが、働いてゐる者には暑い日だ。空から降る輝かしい太陽の光りの下で、稲田の向ふの畑に男と女と若い娘と子供と老人が一生懸命に働いて居る。何をしてゐるか、安物の望遠鏡ではよく分らないが、汗をたら〳〵流して働いて居る事は間違ひない。其の動作から想像して何月かの後にあの畑から生れて來るものを思ふと、ぼんやりして風景を見て暮らしてゐる自分が恥しくなる。避暑だの靜養だのと云へば贅澤で氣が利いてゐるやうだが、其實思つた程から良くなるわけでも無く、又頭がはつきりして來はしないのだ。

忘却

少年の時學友と一緒に行つた事のある村へ馬車に乗つて行つて見た。どこを眺めても記憶に殘つて居ない人家のある處から離れてやしろのある處へ行つた。胡麻の花と豆と蒟蒻と陸稲とが風に搖れてゐると畑の間を通つて、すく〳〵と素直に伸びた杉の大木で、ちやん〳〵を着た子供の群はお互に叫び乍ら蟬を捕つてゐた。百日紅の赤い花の下には女の子がひとりぼんやり立つてゐた。私は一度此所へも來た様に思ふが、そこに立つてゐるとどの木を見ても總て忘れてしまつて見覺えがない。追憶の的が消えて何もないのは寂しいものだ。私は直ぐやしろを出てしまつた。太陽がかげり或は輝くひるさがりに、少年の駭者が勇ましくラッパを吹き鳴らす馬車に乗つて村へ歸つて來た。靜かな平和な村に歸つて來た。して疲れたからだを亡くなつた父の本箱の前へ横へた

すいつちよ

あかりの下で、風船虫を取つてゐる時に、青いすいつちよが飛んで來た。疊の上を長い足で歩いた。そつと手をやるとすうつと飛んでゆかたに止まつた。妹はそれを袂で押へた。私はそれを手に取つて籠の中に入れた。翌日の夜あかりがついて間も無く籠の中で、すいつちよが鳴き出した。籠の中でも忘れる事無く、又恐れもせず鳴くすいつちよ。私はあすお前の爲に、蠅を取つてやらう（大正十一年九月出版『靜かな心』から）

霧の夜曲

夢　虹二

俤を
尋ね尋ねて　草枕
夜の街に　彷徨へど
たゞ聞くものは
心を刳る　唄ばかり

盃に
熱き涙を　ひと雫
酒場にひとり　夢追へど
たゞ見るものは
窶れし我の　影ばかり

君が名を
呼びつ夜更けの　の中
張り裂く胸を　れど
たゞ知るものは
破れて哀し　夢ばかり

9月18日

△文壇の耆宿德富蘆花逝く（昭和二）△滿洲事變起る（昭和六）△フイリッピン初代大統領選擧（同一〇）

綾鼓

梓　ゆみね

（上）

○みづからは果てなむ戀どうち嘆き落葉かく手も痩せはをりけむ
○老の身を心搖りつゝ戀ふればか賤男のまなこ怪しきまでに
○桂木にかくる鼓の音も立たば遂げ了はさむとちぎる空しさ

次回時代小說豫告

悲戀　髑髏組（どくろぐみ）

林　杢兵衛　作
金子　士郎　畫

永い間お愛讀を蒙りました本紙掲載の長編讀物は、愈々近日中に完結を告げ讀者とお別れすることになりました。就てはその後を受けて本紙上に讀者の熱讃を希ふ長編時代小說として、〃作嚴選の結果、讀者の淸鑑に供することに決定いたしました

本編の作者は、新進作家として最近文壇にその鬼才を認められ、文藝春秋社講談社等の各雜誌に續々執筆して、忽ち多數ファンを獲得し、今や雜誌界の寵兒たるに至つた稀に見る新進の天才でありますが、更に雄躍一番、新聞界に襲名を馳すべく非常な熱意を以て新に執筆した苦心の力作が即ち本篇であります。作者が自己の力量を世に問はんとしての一大力作のことですから、その無限の魅力は必ずや讀者諸彥の熱狂的好評を博すべきことは疑ひありません。且又、挿畫は更に斯界に令名ある金子士郎氏が特に作者の作意を尊重して、極めて本文に忠實に構圖した、圓熟老巧にして然も新味溢るるばかりの精細な密畫ですから、本篇一度紙上に現はるる時、讀者の興味は白熱的に沸騰することでせう。どうぞ御期待下さい。

梗概明紙に掲載

贈　福尾齒科醫院長　珠雲　小野務平

講談

世路崎嶇視坦然
乞治士女滿門前
軒岐畢是是仁術
只合勵精天職全

妖刀流轉（えうとうるてん）

(195)　邑井貞吉口演　佐々木今朝吉畫

因果の妖刀（十）

澤田角右衛門會釋をして座敷へ通り、何よりも心にかゝる親友粂之進の病床へ參りますと、相變らず寢たつ切りで、ウト〳〵としてゐる様子、澤田はおちかに向ひ手短に來意を告げました、早速取出したおこよの書狀、傍から亀藏も口を添へ、これ〳〵と委細を話したので、おちかは驚くやら感激するやら流石女のこと早くも涙ぐみまして

ち『マアそのようなあの娘の心で御座いましたか、そうとも知らず平素のおこよにも似合はぬ今日の振舞、合點が行かぬとも存じ、今も今まで案じて居りましたに、私共をどこ迄も主人と思ひ、其身を苦界へ沈めても貢いで與れよう志し、忝なく存じます』

と顔に袂を押あてゝ鼻をつまらす、此方には十內も堪りかね

十『エゝ扱てはそういふおこよ殿の優しい志でが御座りましたか、知らぬ事とはいひながら、今迄腹の腐つた女だの、恩知らずの六でなしだのと、惡く云つて居りましたのが面目ない、勘辨してくれおこよどん』

と、正直者だから十內が其處に居もせぬおこよへ頭を下げて詫を云ふ、澤田はおちかを勵まして

角『そのような事よりも、氣にかゝるはそれなる書狀火急とあらば一刻も早く、開封して見られるがよい』

促されておちかも心づき行燈の傍へ近づいて燈火をかき立て、封を押切り讀み下せば、おこよが前後も顚倒の走り書、お詫言はあとの事、仇と尋ねる廣瀨軍藏が、只今この橋本屋へ參つて居りますといふ知らせでありますから、おちかはアッと驚きの聲をあげた。寢た間も忘れぬ亡夫の仇敵廣瀨軍藏が圖らずも、府中の遊廓へ立廻つたといふのだから、おちかが思はず驚喜の聲をあげたのは無理もない、父粂之進の病床へ走りより

ち『お父様々々、軍藏の在所が知れたそうで御座ります』

と思はず調子も變るばかり

ウト〳〵して居りました粂之進、その聲を開くとハッと目をあき、驚きと喜びに病體も急激な變化が起つたものと見ゑまして

粂『ナ、何んと、何と申す廣瀨の行方が知れたと申すか』

ハッキリと口を利いた、おちかはアッとのけ反るばかり、

ち『お父上お口が御自由になりましたか』

と取縋れば、大太郎もお梅も吃驚いたし、

與『ヤアお祖父さまが口をお利きなされた』

と枕元へかけて來る。十內も慌てゝ臺所から出て來るといふ騷ぎ

角『何粂之進殿の口が利けたか』

と、澤田角右衛門も喜んでそれへ進む、おちかは嬉し涙にワッと泣き出し、

ち『今日は如何なる吉日ぞや、父上の御病氣がよくお成りなされたのみか、思はず知れた仇敵の手掛り、モシ澤田さま、この手紙を御覧下されませ、こよが火急の用事と申して知らせて寄越したもその道理、私共が片時も忘れた事のない一家の怨敵、廣瀨軍藏と申す惡人の、所在が知れたそうで御座ります』

と、おちかが澤田へ手短に、夫嘉平次の討たれた事、軍藏といふ人間の成立ちを物語りまして敵討の大望ある事を告げたから、角右衛門も膝を打ち

角『さも有らんとは豫てより拙者もお察し申したが、その手掛りが知れたとは、何より大慶祝着至極……』

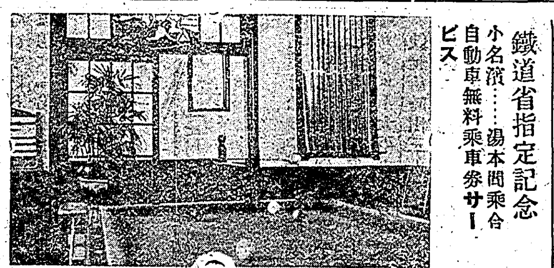
今朝吉畫

廣告

松村醫院
院長　松村鐵郎
平市南町電一〇七

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
X光線科
平南町
病室完備
上田醫院
（電話一二九）

旅舘　大平舘
私は平市出身ですから特に郷里の皆様方の爲めに御便宜を圖ります
主人　比佐棟雄
電話下谷⑧六七七番
東京上野驛前
下谷郵便局横通角



小瀧へ!!!
◇宿泊料　1.50　2.00　2.50
（御滯在は左記料金にて中食料をふくませます）
◇日歸浴席料　.20
◇自炊料　.50—.80　入浴料●室料　夜具料一切
◇料理一定食　.80　1.00　1.50
（その他一品料理洋食）
◇湯効　神經痛・リウマチス・胃腸病　痔疾・婦人病・逆上・中風肥・胖病
（內務省東京衛生試驗所檢定濟）
◇諸設備　撞球臺・高級ラヂオ・大廣間　讀書室・近代式浴場と洗面所・水洗式便所　小動物園・タクシー部・御子様運動器具
◇名物　川魚料理（うなぎ・鯉）蜂密羊かん
●女中數名入用●
常磐線湯本驛　小瀧鑛泉
御旅館　御自炊　瀧の湯
電話（小名濱）103番

鐵道省指定記念
小名濱……湯本間乘合自動車無料乘車券サービス
乘車券は小名濱馬目自動車店、西野屋自轉車店、湯本驛前丸本、矢內自動車店に御座います。三人様以上はハイヤーをサービス致します。何卒御利用下さい。

時代の要求皆様の足!!
尼子タクシーへも豆タクが入りました。
御玄關から玄關へ…迅速簡便
是非御利用を……
市內…三〇錢　市外…四割引
流線型セダン、大型貸切バス
宮行ー直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします。
平市二丁目
尼子自動車商會
電話六四〇番

杉田平十郎（HS線發明者 樂生堂本院長）著
必ず治る
淋病療法の新知識　無代進呈
淋病に罹つても心配無用……！
家庭の暗さも一掃される新療法！
ハガキで御申越の方に右の小冊子を逐呈致しますから先づHS線の特性治淋原理を知られHS線を正しく認識して頂きたいと存じます。
淋病及慢性病一般
樂生堂HS線平療院
平市古鍛冶町（天理教會前）

磐城の御みやげ品
名物　靈峰（みやま）羊羹　金十、錢
姉妹品　柿羊羹。のり羊羹。
沼ノ內辨天羊羹。
御旅のお出入には好個のお土産品です。
小賣御希望の方お申越下さい。
製造發賣元　平屋賣店
小川郷驛前

耳鼻咽喉科
高柳醫院
（入院隨意 自炊ノ便アリ）
醫學博士　高柳博明
平驛前（電三三六）

御贈答品には
ニンベン
かつをぶし
平市四丁目
宍戸屋商店
電話（鹽干部）二一五番　（鮮魚部）四〇七番

吸入用酸素　純度99%
度量衡
モノサシ
マス
ハカリ
計量器
體溫器
寒暖計
開內藥局
電話四〇番

互融會事業近況
事業報告昭和十二年八月中
融通口數　一六二口
融通金額　七、三五六、五〇
滿期拂戻金額　二九口
概況昭和十二年八月末現在
滿期拂戻金額　一、四四〇、〇〇
會員數　七、九五二口
會員世帶數　五、二三三戸
積立金額　一〇三、六〇八、七七
融通金額　一三六、七九七、五七
回收金額　五三、六八六、三〇
滿期拂戻口數　二六一口
滿期拂戻金額　三、三七五、〇〇

一、社會公共事業及慈善事業ヘノ奉仕
一、精神修養講話會
一、會員ノ吉凶慶弔
一、會員相互見舞
一、人事相談及婚姻ノ媒介
一、診療救血ノ補償
一、稅金ノ代納事務取扱
一、會報發刊
一、勤儉日積立金ノ獎勵
一、小資本金ノ相互融通

太平火災海上保險株式會社平中央代理店
石城中小商工互融會
事務所　福島縣平市揉槌小路一番地
電話五五五番
小名濱方部　小名濱町古湊
菊田方部　植田町堅町
湯本方部　湯本町裏町
相双支部　原町東一番町

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
郡山驛より約三十丁　安積中學より約五丁
內務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生
電話九二五番
入院隨時
院長醫學士　金森五郎

砲聲も今は耳なれた
爆裂は花火の様に綺麗＝と
澤渡出身報知寫眞班員　會田利彌君通信

澤渡出身會田利彌氏は曩年宮田三朗氏のいはらき支局長時代に於て支局内に寄寓し佑賢學舍に通つて苦學を續け今日では報知新聞寫眞班員として某方面に活躍してゐる力行の青年であるが、今回次の様な通信を市内某氏に寄せた

——戰場は毎朝砲聲の音に目覺めます。夜中も空襲の爆音砲聲に夢破られる始末です。敵機を砲撃する○○銃、○○砲の夜の光景は丁度夏の夜の煙火とそつくりで、赤いのや青いのやら色とり／＼の彈道を描き誠に綺麗です。小生達のアパート（八階建）は毎夜敵の○○砲が物凄いうなりで飛んで來て百米乃至三百米前方で爆裂してゐます。現在では耳なれて何とも感じない樣になりました——（後略）——

築かるゝ銃後の堅陣

第一線の兵隊さんが連戰連勝、破竹の勢ひで進むに負けじと銃後の熱誠もたゞまつしぐら、けふは別項の如く牛島の同胞迄が突進して力强い赤誠の程を示した。一方目下各區が取纒めてゐる軍事後援會の寄附金もはや提出濟み九區、この額二千八十六圓七十錢に上り何れも割當額を突破してゐるので當局は『この分で行くと一萬圓突破は確實だ』と市民の熱誠に感激してゐるなど今や銃後の護りは日一日と堅陣を築いて行く——

鮮人古物屋さん奮起
―同僚に呼びかけて八圓三十錢を寄託―

市内古鍛冶町古物商牛島生れ森本濱三郎(四二)氏は『我々も兵隊さんに感謝の意を表さう』と同僚十名に呼びかけて金八圓三十錢を纒め十六日市役所へ慰問費として寄託した

小名國婦會員活動

小名濱町國防婦人會第四區(同町西町)では兵隊さんの慰問金造成のため昨十六日全員出動明後舊十五日のお月見樣の萩、スヽキを採取、昨今兩日に亘つて町内に賣り歩き纒り次第町役場に寄託する

第四校集繭品評會好績

平第四小學校(舊平窪)では例年の如く高一、二の兒童によつて集繭品評會を開き、出來高三十二貫八百匁を市内大倉組に百三十一圓二十錢で賣却した、受賞兒童左の如し

(一等)高一矢内一子　(二等)同薬谷大平　同永瀬マサ子　同高二吉田佳平　(三等)高一上妻孝三郎　同五十嵐金吾　同草野明子　高二相田延一　同吉田イネ子

上小川村で國婦會結成
明記念日に發會

上小川組合村では明十八日の滿洲事變記念日をトして國防婦人會の發會式を擧行、郡農會柴田技手の『時局と農村婦人の覺悟』と題する講演ある

。。。。。施肥改善講演　江名町農會主催で十九日午前十時から永崎分敎場に施肥改善講演座談會を開く、講師は郡駐在吉成技手

伊藤新助役
◇あす着任

新任平市助役伊藤秀吉氏は今十七日着任の筈であつたが明十八日に延期された

平市參事會員補選
根本氏の急逝で近く執行

市議根本品藏氏の急逝による補充は市制第二十條の次點繰上げにより別に選擧を行はず多田井笑次郎氏の當選と云ふ事になつたが根本氏が名譽職市參事會員であつた爲此方は繰り上げと云ふわけに行かず市制第六十五條により直に補闕選擧を行ふ事になつて居るので不日選擧會が開かれる筈で其の動向が刮目されてゐる

渦く感激
戰線に響く銃後の熱
入場券賣場前の群衆
驛頭に見る時局の反映

時局の所産たる驛頭殆ど連日の入渦は十字砲火も凄まじい戰線の士氣がお互有つ銃後心の如何に因果すること蓋し絶大であると云はれる以上、何れも擧つて晴の首途を壯んならしむべきであり、之の擧國一致的風景は最近の地方各驛頭に遺憾無く現れてゐる。之を平驛の入場券數に就いて見るに未だ此事無かつた平時に於て一日平均四十枚月千二百枚位に過ぎなかつたのが去月中は俄然例月の約十倍（一人に付き十名の無料入場を除く）に奔騰し更に今月は昨十六日迄の半月間に於て實に其の又二倍に上り、月末迄には恐らく例月の四十倍に達するでは無いかと豫想される程である。而も驛前廣場に於て濟ます事により、其間緩和さるる處大なるに拘らず尙はこの數字に上るもので、その行を旺んならしむる人々の熱誠もさる事乍ら驛當局としては混雜に因る事故の發生を避くる爲ホーム入りはなるべく親近者のみに止めて欲しい方針であると

流言男續々引致
平署の取締嚴！

昨報、時局に關して根も葉もない流言蜚語を放つた赤井村常住日雇衆班目嘉助(三三)は平署で取調べの結果同村畑子作堀井彥吉(七一)も班目と共に同樣人心を惑はして廉で取調べを受けた尙鹿島村御代字反田農八代進(四〇)は泥醉の上自動車内でこれ亦不穩な言辭を弄して嚴重説諭された

出征軍人の—
臨時財政補給金を以て
戶數割は全免乃至減額
後期分の徵收に際して
平市當局の銃後方針

町村財政の緩和上期待されてゐた昭和十二年度臨時地方財政町村補給金は既報の如く舊平町同平窪村分として平市にその額三萬二千二百四十五圓が交付され、今年度後期分の雜種税附加税並に特別戶數割の輕減に充當されるわけだが市當局としては此際これを出征軍人の戶數割輕減にも資する方針を立てゝゐる

即ち右交付金中約一萬二千餘圓を雜種税附加税の約二萬圓を戶數割の何れも輕減に充當する筈でゐた當局では時局柄方針を變へて先づ第一に出征軍人の生活程度によつて全免乃至減額に充當した上一般戶數割、附加税の方にしむけやうと云ふもの

——未だ市會にもかけてゐないのだがこの方針で實現をはかり軍人遺家族救護の一助としたいと考へてゐる

銃後運動の叫ばれてゐる折柄とてこの方針は喜ばれてゐる、山野邊町税主任談

前期分の切符配布
＝納期は今月末デス

今年度特別税戶數割は總五百圓の動きを見せ委員會の修正案通り可決されたので市役所では來る二十一日一齊に前期分の告知書を配布すべく係員總動員でこれが準備に忙殺されてゐる總額四萬九千百一圓五十錢で賦課戶數五千五百四十六戶、納期は今月末である

あす大野村から初の共同出荷
相場は二割高豫想

梨子出廻る

今春來の不順天候に祟られて大減收を來した郡下の梨子もそろ／＼出廻季に入つたので郡農會では例年の如く共同出荷の準備を進めてゐたが愈よ明十八日大野村藥王寺果樹組合から長十郎一車（八トン）の出荷があるので青山技師が出張する

この外小川赤井、好間內鄕の各村からも續々出荷される筈だがその數量は昨年の百車に對しせい／＼五十車位であらうと云はれる、出荷先は何れも東京市場で來月一杯までには完了するだらう

相場は多少品質が劣つても品不足なので昨年より二割高を豫想されてゐる

。。。。。。果樹立毛品評會　好間村の果樹立毛品評會を二十日開く

。。。。。。千草製造週間　市內平窪の千草製造週間は十五日から實施中從事團体は在鄕軍人分會、男子青年團、青年學校

。。。。正敎員講習會　來月一日より同月末日迄福島師範學校に小學校正敎員講習會が開かれるので受講の希望者は來る二十四日迄申込まれたい、講習員の割當ては本郡が二名、平市が一名

非常時を忘れぬ程に
秋の行樂も不可なし
―白岩邊の季節近づく―

蕭殺の秋は一雨毎に深み行く。國民精神總動員をすら叫ばれて居る今日、時知らずに秋の行樂でもあるまいが、矢張りその時季が訪れると川前溪谷の探勝に白岩の茸狩りに時節柄愼みを忘れぬ程度の催しが夫々あつて他日の元氣振興に備ふる處あるものと觀ねばなるまい。尤も滿山錦繡織りなす幽境川前の紅葉には尙は相當の時間もあるが、白岩の茸狩り遊行に至つては今後一ケ月そこ／＼で殊に今年はハイクコース設定第一年の秋であり、從來以上の盛況を呈するものと豫想されるが今年の茸に就て斯の道の通は

勿論今後の天候に支配さるる處多いが、此れ迄の處では例年より日照り續きであつた爲發育が惡いと云ふのが常識觀である、幾分品不足となるではなからうか。云々と豫想を語つた

無謀な夫婦
一札を入れてハヤさん救る

市內立町磐城炭礦發電所職工大谷重治郎君(三八)はこの四月結婚した內妻ハヤ子さん(二四)を殘して此程勇躍皇軍の第一線に立つ身となつたが同君の實兄大谷榮次夫婦は十四日ハヤ子さんの許を訪れ『弟の留守中は俺達が世話してやる』と同居を求めハヤさんが拒むのを無理矢理十五日夜遂に連れて歸つた

會社では重治郎君の留守中は月二十餘圓を支給することになつて居り或はこれを目あての態度ではないかとの附近の噂さもあり、屆け出により平署では昨十六日午後榮次夫婦を呼び出し種々取調べた上ハヤ子さんの意志を尊重し『無謀の態度には出ないこと、ハヤ子さんも附近との交際もあるから當分留守宅を守つた上親戚などと相談身の振り方を決めること』の一札を取り一應引き取らせた

相手の懷から出た
短刀で突き殺す
今曉小名濱町の慘劇

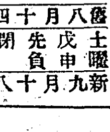
小名濱町松の中居住無職新潟縣中蒲原郡生れ吉澤嘉平(三八)は今曉一時半頃同町上町カフェー大平チヨ方で同町飮食店時田三郎方コック茨城縣久慈郡久慈町生れ富山重信(三七)と飮み合ひ中ふとしたことから口論、大立廻りとなつたがその場は仲裁が入つてどうやら納まつたものゝ餘憤納さめぬ吉澤は一たん立去つて同町横町地内の暗がりに待ち伏せ、富山が來るや物をも云はず飛びかゝつて格鬪中富山の懷中から刄渡三寸餘の短刀が出たので吉澤はこれを奪ひ取り、富山を組み伏せて咽喉部目がけて突き刺し即死せしめた、犯人は直に平署駐在巡査に捕はれた

檢事急行、死体解剖
原因は單純か？

急報により平署から佐藤司法主任以下刑事一行が現地に急行目下犯人吉澤をはじめ關係者の取調べを進めてゐるが、原因は單純なものらしい、被害者は頸動脈を突き刺されて居り平檢事局から大脇檢事が藤沼醫師と共に急行死体を解剖に附した

最も正確にして解り易い……
最近支那大地圖
附 滿蒙及上海市街圖　定價七拾錢
事變關係
最新北支那詳圖　定價二十五錢
官報附錄時局詳報
內閣印刷局　週報　一部五錢
月四回 水曜發行
販賣店 マルトモ書店
電 一二四 二三四

十八日（小名濱測候所發表）
滿潮 前二、〇〇 後三、二五
干潮 前九、〇五 後九、二〇



舊八月十四日
土曜 戊申 先負 閉 氐宿
新九月十八日

評判定應需
東京市本郷區湯島四丁目
高島易斷總本部　神誠館

▲一白　緊張味豐かに萬事をつかさどれば益々良好に向ふ日▲二黑　急いでは事を仕損じ易したわまず勤むが安全▲三碧　平凡なる運氣を保たんには細心の注意肝要▲四綠　故障の起り易き日靜かに本業を守るが勝ち▲五黃　利得ありとて安心すべからず失ふ事亦多し▲六白　口はわざはひの門といふ沈默を守るが安全なる日▲七赤　好じを投ぜらるゝも企む勿れ中に針をふくむ▲八白　しやしを減しめ質素を旨とし家事を整ふべし▲九紫　物事圓くわつに進展する日開店普請造作旅行吉

廣告

山野邊東治郎創製
漢方胃腸藥
效果頗る優秀
發賣元 山野邊藥局 平・五丁目

磐城名物
靈峰羊羹
小川郷驛前 平屋賣店

高久病院
院長 高久忠
電話五一三番

應召軍人
防寒用防彈チョッキ
純眞綿製品
毛糸製品ヨリ安價ニシテ風ヲ通サズ保溫最モ良ク最適品ヲ御勸メ致シマス。
平市二丁目
山家メリヤス店
電話六〇五番

平市の實現とタイアップ—
パーマネントマシンを設備
時代の要求する女性の美こそ永もちのあるパーマネントウエーブを！
進む時代に向つて遲れぬ設備ある弊院は此の際皆々樣に是非パーマネントウエーブをおすゝめ致します
最も安く!!
お氣輕に!!!
そして親切に!!!
（高級藥品使用）
お値 七圓 五圓 三圓……カール一式
水野化粧院
水野冬子
平市驛前 電話六七八番
自宅 電話五二五番

食事 喫茶 酒場を兼ねた
レストラン
サロン
平田町 電三二五

豆炭、コールタール販賣
一、品川豆炭
大袋 五貫匁入 金七十五錢也
小袋 壹貫匁入 金二十錢也
壹袋カラ配達致シマス、ドウゾ御注文下サイ。
一、コールタール一本（十五キロ入）金九十五錢
一本ヨリ配達致シマスカラ是非御試メシ下サイ。
電話三七番
平驛前
阿部石炭店

外科（內臟外科及一般外科）
X光線科、花柳病
內科、小兒科
院長 前田清美
岩手醫學士 萬波勳
（自炊ノ便アリ）（病室完備）
前田醫院
田町本町電話一二四番